

回生 ニュース

特定医療法人斎寿会回生病院

K a i s e i N e w s

59号

2011.7月発行

発行/特定医療法人斎寿会回生病院

編集/鈴鹿回生病院

所在地/鈴鹿市国府町112番地1

TEL/059-375-1212

FAX/059-375-1717

URL/http://www.kaiseihp.com

編集協力/TCK Nagoya

- 1 医療の現場から
がん診療連携推進病院に指定されました。
- 2 あなたの街のお医者さん
「とくりき耳鼻咽喉科医院」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・福祉用具シリーズ ～ソックスエイド～
・かんぱちのカルパッチョ
- 6 回生.com
「鈴鹿回生病院の看護部vol.6」
医志蘇通
- 7 Information
・ノルディックウォーキング・院内美化運動
・看護の日 他

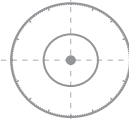
今年も夏祭り 開催いたします!

今年も夏祭りを開催いたします。大正琴、三味線、バザー、レクリエーション、カラオケ、健康相談など楽しい催しを企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。ぜひお越しください。

日時 平成23年 7月 23日(土) 14:00～

場所 病院1階総合受付前





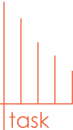
がん診療連携推進病院に 指定されました

Promotion base hospital for regional cancer

日本人死因の第一位であるがん。そのがん患者数は年々増加傾向にあります。平成19年4月「がん対策基本法」の理念に基づき、全国どこでも質の高いがんの専門治療が受けられるよう都道府県に「がん診療拠点病院」を整備し、さらに二次保険医療圏毎に「がん診療連携拠点病院」を配置しました。三重県では6病院が指定を受けています。近年の増加するがん疾病に対しさらなるがん医療提供体制および病診連携の充実をはかるため「がん診療推進病院の指定に関する要綱」が定められましたが、当院は、その指定要件が整備されているとして、去る平成23年3月31日、「がん診療連携推進病院」として指定を受けました。



がん診療連携推進病院としての役割



地域の皆さんにもがん治療に関する情報を開示し、地域の医療機関との連携の強化や地域への啓発・教育活動。がん連携クリニカルパスの導入・運用、相談支援センターの設置、院内がん登録、5大がん(※1)への集学的治療(※2)の実施が主な役割となります。

緩和ケアの診療体制

医師や看護師、薬剤師などが緩和ケアチームを組織し、外来に於いても緩和ケアを提供できる体制を整備しています。治療やがんの苦痛をどのようにやわげることができるかなどを、主治医を中心に全ての医療関係者が協力しながら必要な肉体的、精神的ケアを提供できるように努めています。

がん診療連携推進病院を開始

がん診療連携推進病院とは、内科、外科、腫瘍内科、放射線科、麻酔科、精神科、病理、緩和ケア、薬理学、リハビリテーション医学、栄養学などの各専門家が集まり、1つの症例に対する治療法を包括的に議論する場のことで、その結果、エビデ

ンス(科学的な根拠)に基づいた最善の治療を決定し、がんの種類や病期、合併症治療、さらには患者さんの意思を尊重した、最適で包括的な治療方針を提示・実践して行こうとする新たな診療体制で



す。このがん診療連携推進病院を通じて、診療体制を高め、治療法の妥当性や、今後の治療方針などを検討しさまざまな取り決めを行います。



その他

多くのがん治療における各学会の認定研修病院となっておりますので、専門医を目指す医師が当院で研修するには最適な環境です。診断機器も最新機器(CT、3.0T MRI、シンチグラフィ、アンギオなど)を揃え、放射線治療装置

NOTE

指定を受けるには

病院の機能、診療体制、がん患者数、医師・看護師等の資格などが県の基準を満たしていなければなりません。当院では、がん診療を病院の主要機能と位置づけ、体制整備を進めてきました。この結果、県の基準を満たし、今回の指定取得となりました。

(ライナック)も整備されていますので、今後より一層がんに対する診断治療能力を高め地域に貢献していきたいと考えています。

(※1) 5大がん

肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん

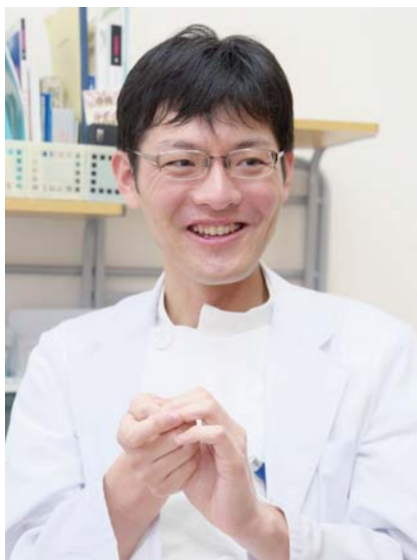
(※2) 集学的治療法

いくつかの療法(手術・化学療法・放射線治療など)を組み合わせた治療法



連携医療機関紹介

とくりき耳鼻咽喉科医院



▲ 院長の徳力雅治先生

開院4年目の新しいクリニック

とくりき耳鼻咽喉科医院は、近鉄平田駅の南側に約150メートルほどの便利な場所にあります。明るい院内は全面バリアフリー。待合の一角には靴を脱いで過ごすお子さん用のプレイスペースもあり小さなお子さんは待ち時間を退屈させません。



院長の徳力雅治先生は、福井大学医学部を平成8年（1996年）にご卒業後、福井大学医学部附属病院、松波総合病院、舞鶴共済病院などで勤務医をご経験。舞鶴共済病院で勤務医をされていた平成18年、御尊父が体調を崩されたのをきっかけに、ご両親が夫婦で診療していた「とくりき医院」に戻ってこられたそうです。地元に戻ってから半年で御尊父は亡くなり、一緒に診察場に立つことはなかったと寂しげに話される先生。ご母堂とは時々一緒に診療をしていたそうです。その当時

「とくりき医院」は建物も30年以上経過していたため、お年寄りやお子さんに優しいバリアフリーのクリニックとして、平成19年2月、当時第二駐車場として利用していたこの地にリニューアルされました。

睡眠時無呼吸症候群

舞鶴共済病院での勤務医時代は、睡眠時無呼吸症候群の治療を多く経験されたという先生。とくりき耳鼻咽喉科医院に於いても、治療を行っております。「まず、基本的には簡易検査で数値をみます。特殊なセンサーを鼻と指にテープで貼り付け一晩の睡眠状態を記録するという簡単なもので、はじめの検査から保険適用です。なかなかご自身で気づかない病気なのでご家族の方からの助言は聞き流さないで欲しいですね」。

花粉症

今年の花粉飛散量は予想通りとても多く、患者さんもとても多かったです。「ひのきにおいては過去20年でトップの飛散量かもしれません。スタートが遅かったので困惑しました。3.11東日本大震災の翌日は1日に1500個も飛散し、1日3桁でもすごい飛散量だといわれている中、今年は2日間で昨年飛散量を超えたんです。天変地異の前触れかと思うほどでした。今年もう花粉は終わりつつありますが、症状が出る前に対処する「季節前療法」や「初期療法」が施されるとかなり楽に過ごせますので、来シーズンは遅くとも2月上旬までには初期治療にお越しいただきたいと思います。早い時期ですと外来も空いています」



患者さんへのメッセージ

患者さん目線で話しをされるフレンドリーでとても話しやすいと評判の徳力

DATA

TEL 059-378-4131

住所

鈴鹿市平田東町2-7

診療科目

●耳鼻咽喉科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時00分

△土曜は9:00～13:00

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	△	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



先生。医師を目指す前にはツアーコンダクターになりたかったというのも納得です。そんな先生に患者さんへのメッセージを伺いました。

「気になることがあったら遠慮せずに気軽に受診してほしいですね。できる限り診察の時間をゆっくりとって、患者さんには、診療の内容を理解していただいて帰っていただくことができています。また、当院で治療の困難な症例の場合は、回生病院さんや鈴鹿中央総合病院さんなどの大きな病院をご紹介します」。

今後も、地域のかかりつけ医としてのご活躍を期待しています。



福祉用具シリーズ ソックスエイド

股関節、ひざの動きが悪くなったり、関節の曲げ伸ばしが困難な方が、靴下を履きにくい場合に使用する為の福祉用具です。



リハビリテーション課
作業療法士
加藤 恵梨花

ご注意

足関節の動きを必要とするため、足関節に制限がある場合は使用困難です。また、靴下のゴムが固い場合や手指機能が低下している方は、ソックスエイドが使用いただけません場合があります。



ソックスエイドを丸め、靴下をかぶせます。



ソックスエイドを床におき、ひもを引きながら足をいれます。



ひもを引きながら、ソックスエイドを引き抜きます。



発信@
栄養管理室



管理栄養士
安田 明代

ピックアップ食材
かんぱち

かんぱちの
カルパッチョ



●ピックアップポイント

肉類よりも魚類を多く摂取したほうがよいとよく耳にしますが、1週間のうちに5～6回はお魚を食べていますか？

お魚料理は食べる側も作る側も少々面倒なことがあり、また若い方にとってはお魚よりもお肉を好む方が多くみられます。今回はなるべく簡単に作れ、魚嫌いの方でも食べやすいカルパッチョを紹介します。手に入りやすいカンパチは養殖がほとんどで、新鮮なものでないと美味しく頂けない場合がありますが、ブロックに軽く火を通し、ピリッと柚子こしょうをきかすことで、とても食べやすくなります。魚に含まれる不飽和脂肪酸は、血圧を正常に保ち、コレステロールや中性脂肪を減らして血液をサラサラにすると言われており、オリーブ油と一緒に食べる事で、酸化を防ぐことができ、効率よく身体に吸収されます。

【材料】4人分

- | | | |
|----------------|--------|--|
| かんぱち (刺身用ブロック) | 320g | ①かんぱちのブロックに塩・黒こしょう・柚子こしょうをふりしばらくなじませる |
| 塩 | 4つまみ | ②①の余分な水気をキッチンペーパー等でおさえて水気を取り除く |
| 黒こしょう | 適量 | ③フライパンを熱し、かんぱちの周りだけに軽く火を通し、白っぽくなれば凍り水にさらし粗熱をとる |
| 柚子こしょう (粉) | 適量 | ④野菜は適度な大きさに切り、Aを混ぜ合わせておく (練り柚子こしょうはお好みで) |
| れもん | 1/2個 | ⑤③を刺身よりも薄めに切り、④と一緒に皿に盛り付ける |
| 胡瓜 | 1本 | ⑥Aのソースをかけて、できあがり |
| かいわれ大根 | 1パック | |
| おくら | 4本 | |
| 長芋 | 10cm程度 | |
| とまと | 1個 | |
| みょうが | 2本 | |
| オリーブ油 | 大さじ2 | |
| 柚子ぼん酢 | 大さじ4 | |
| にんにく | 1～2かけ | |
| すりごま | 小さじ2 | |
| コチジャン | 小さじ1/2 | |
| 練り柚子こしょう | 適量 | |

【栄養成分】1人分

エネルギー	198kcal
たんぱく質	18.7g
脂質	10.3g
塩分	1.7g

看護部の理念のもと、患者さん中心の看護サービスの提供に取り組んでいます。看護部では、患者さんの信頼と満足を得るため、看護実践の一つひとつを積み上げ、社会人として成長できるようさまざまな研修や教育に力を注いでいます。ナースには「人を想う心を持ち続ける」「常にチャレンジ精神をもち取り組む」を基本姿勢として成長してほしいと願い、私たちはこの実現を目指した教育環境と職場環境を整備することに努めています。

鈴鹿回生病院の看護部

当院看護部の理念に基づいた取り組みや部署紹介、ナースの声などを連載で紹介しています。vol.6は「認定看護師」。認定看護師とは特定の看護分野について優れた知識と熟練した看護技術を持つと日本看護協会が認定した看護師のことで、現在、19分野において認められています。今号では、現在活躍中の「皮膚・排泄ケア認定看護師」と「脳卒中リハビリテーション看護認定看護師」を紹介します。

皮膚・排泄ケア認定看護師

前川 幸恵



褥瘡発生率の低下・治癒率の向上を目指し、院内の褥瘡率が1%以下を維持したいと考えています。新人教育の皮膚排泄指導はもちろん、看護職員へも実践を交えながら、研修に力を入れています。外来では月2回のストーマ外来を担当し、保有者の方から笑顔で「温泉にいったよ」「仕事が順調だよ」と話を聞けると大変嬉しく思います。ゆっくりと時間をかけて相談を受け、より良いQOL（※）をめざして努力していきます。

※QOL：Quality Of Life（クオリティ・オブ・ライフ）の略で、「生活の質」と訳され、WHOが1989年に、がんの診断時から終末期に至る全過程にQOLを重視した医療を提唱したのが始まり。

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

平賀 香宴



脳卒中は突然に発症し、意識障害や麻痺・言語障害などの後遺症を残す病気です。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割は、発症直後から検査や治療がスムーズに行われるように、また再出血や

再梗塞を起こさないようにケアを提供し、同時に障害を持ちながらその人らしく生活していくことを一貫して支援していくことです。日々勉強しながら医師・リハビリスタッフ・メディカルソーシャルワーカーなどチームで患者さんやご家族の方に関わってまいります。

いしそつう 医志蘇通

Column

ご意見にお答えします。

Q ぜひお願いしたいのですが、床屋さんを開設してください。お願いします。

A ご意見ありがとうございます。入院の方対象に、第1・第3火曜日に床屋さんにきてもらっております。詳細は各ナースステーションにてお尋ねください。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

初めて回生病院に入院しましたが、どこの病院より看護師さんも丁寧で、大変気持ちよく接していただきました。ナースステーションも整理されており、他の病院と違うところに、いくつも気づくことがありました。4日間の入院でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。

A お褒めの言葉ありがとうございます。このようなお褒めの言葉が職員の働くエネルギーとなります。今後さらに良い看護を目指し努力してまいります。

院内美化運動

6月4日(土)、職員による院内美化運動が行われ、大勢の職員が参加し花壇の草取りや溝掃除を実施しました。清掃後には、藤澤名誉院長が所属する「麺友会」の皆さんによるお蕎麦の振舞いが行われ職員が舌つづみを打ちました。



看護の日

5月12日(木)は看護の日でした。「看護の心をみんなの心に」をテーマに血管年齢測定や健康相談などのイベントを行いました。



医療救護班第2班派遣

今回の東日本大震災に対し当院から三重県医療救護班として岩手県陸前高田市へ3名の医療従事者を派遣しました。今回で2班目となり6月20日より24日まで医療活動を行いました。



ご協力(中間報告) ありがとうございます

東日本大震災で被災された皆さまへの義援金箱を設置した所、温かいご支援をいただきました。皆さまからお預かりした義援金は6月11日時点で145,163円となりました。

今号のお知らせ

リハビリより～

北欧発祥のスポーツを取り入れています

◆ ノルディックウォーキング

当院では股関節・膝の運動療法の一つとして、ノルディックウォーキングを取り入れております。これは北欧発祥のスポーツで、2本の特殊なポールを突きながら行うウォーキングのことです。通常のウォーキングに比べエネルギー消費が高く、ポールの使用により股関節や膝への負担を軽減しながら、二の腕などの筋力強化も期待できます。月に1度行う教室では、歩くだけではなく栄養や内臓脂肪等の講義も行っております。



かいせいきっず info

今回の作品はあじさいとでんでん虫です。子供たちの作品を見ると、梅雨でも楽しく感じますね。次回もお楽しみに！



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院文庫)

編集後記

今回は「がん診療連携推進病院に指定されました」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地
TEL059-375-1212
✉ mail:info@kaiseihp.com

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として皆さんの医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 患者さんの生命と個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し 患者さん中心の医療を行います
- ▶ 医療の質を向上させ 時代の要請する医療水準を保ちます

私たちの目標

- ▶ 誰もが適切な医療を平等に受けられるようにします
- ▶ 診療内容・医療情報を適切に説明し 患者さんが最適な医療を選択できるようにします
- ▶ 医療環境を整備し 快適に診療が受けられるようにします